

あぶた福祉会

第17回

花壇整備に感謝状

JR 北海道より、10月17日に、洞爺湖駅前の花壇作りと整備を清水友愛の里緑化事業班で行ってきたことに対し、感謝状をいただきました。

緑化事業班は平成3年より洞爺湖町の町内花壇及び自治会、団体に年間八万本の花を作り、配布して、町内の花いっぱい運動を展開してきました。現在は施設利用者8名、地域生活者4名、町内在宅者2名、担当職員4名の計18名で苗作りから花壇への定植、管理までを手掛けています。



感謝状を手に記念撮影

今年には洞爺湖サミットの開催

もあり、洞爺湖町も町を上げて花いっぱい運動を実施し、特に開催地である洞爺湖温泉地区と人の行き交う洞爺駅前には規模を拡大しての花壇作りとなりました。駅周辺には春はパンジー・ビオラを、夏はマリーゴールドを、各三千五百本植え込み、多くの人たちに見ていただきました。この事業が評価され、当日は、JR北海道鉄道事業部企画部長、東室蘭地区駅長、洞爺駅長らが訪れ、感謝状の伝達式が行われました。

17年間に亘り継続してきた事業に対しての評価と受け留め、今後も町内の花いっぱい運動に責任を持って取り組み、更に努力を惜しまずに続けていく必要性があることを改めて感じました。

お正月気分を先取り

洞爺ライオンズクラブとの交歓会

12月7日に、洞爺ライオンズクラブとの交歓会が実施されました。洞爺ライオンズクラブと



楽しく過ごした洞爺ライオンズクラブとの交流会

は、十数年に亘り、年一回交流会を開いています。内容は様々であり、過去にはカラオケ大会、パークゴルフ大会、果物狩り、炊事遠足などを実施してきました。

今年も、餅つきをして、つきたての餅を食べながら会話を楽しみ、更には小熊社中の皆様にも参加していただき、清水友愛の里のお琴クラブによる演奏を聴くという企画で実施しました。ついたお餅は、黄な粉や砂糖醤油をまぶし、また中に餡を入れて大福にしましたが、今回はライオンズクラブの方の奥様にもお手伝いをいただきました。

22kgという大量のもち米ですから、全てのお餅を丸めるだけで重労働です。それでも参加された奥様方は「昔は良くやっただけ、久しぶりだわ」と言いながら、2時間もの長い間、お餅の加工に携わってくれました。

餅つき後は、昼食会を開き、つきたてのお餅を、雑煮と納豆餅にいただきました。柔らかいお餅を食べながら、ライオンズクラブの方と、昔の交流会などの話をし、懐かしい光景が浮かんできました。

最後は、お琴の演奏に合わせて、ライオンズクラブの方に2曲演奏を歌っていただき、大変盛り上がりました。

洞爺ライオンズクラブの皆様、小熊社中の皆様、お忙しい中、交流の機会をいただき、大変ありがとございました。

より安心して

暮らせる環境を

10月28日に、財団法人 大友福祉振興財団より助成金が交付され、清水友愛の里に、AED（自動体外除細動器）救急用人口蘇生器 セフティハードル浴室用滑り止めマット）を贈呈されました。通所授産施設あすな



贈られたAED

る及び通所授産施設あけぼのにも、それぞれAEDと人口蘇生器が贈呈されました。

清水友愛の里は、開設から25年を迎え、利用者の高齢化、重度化が進み、町で暮らす力、働く力を身に付けるための支援から、体調管理及び事故防止対策などに重点を置いた支援が中心となってきました。常に一人ひとりの目配りを怠らず、利用者が安心して暮らせる環境を整えていくためには、設備面での整備が大変重要であると思えます。これらの器具類の助成を機に、今まで以上に利用者に安心と安全を提供していきたいと考えています。

皆様ののご好意、まことにありがとございました。